令和7年度 鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校第2回学校運営協議会

令和7年7月3日(木) 協議 14:40~ 鶴ヶ島中学校会議室 全体進行 教頭

- 1 開会の言葉 教頭
- 2 あいさつ 会長

3 議題

- (1) 情報交換
 - ① 地域の様子
 - ○地域のごみ出しボランティア助かっている。…社協が指揮を執って中学校へ募集の案内が届く。希望する生徒も多い。
 - ○身の回りや近所に中学生がいない。
 - (自身も) ゴミ出しボランティアをしているがおむつなどの重いゴミもあり女子生徒では大変なと きもあるのではないか。
 - ○市内小学校から私立中学校へ進学する生徒の割合はどのくらいか?…感覚的には一クラスに 2 名 くらい。駅に近い学校は私立への進学が多い印象。
 - ② 学校の様子
 - ○体育祭も終わりました。3年生は3年生らしくなった。今年の3年生は勝負にこだわり大変なこともあったが全体的に後輩へいい姿を見せられた体育祭だった。
 - ○昨日、一昨日で期末テストが終わりました。3年生はきょうも実力テストを行っています。
 - ○3 年生は最後の大会(部活)がありました。いくつか県大へ進んでいます。自分たちなりに全力でがんばってこれたという振り返りの報告がありました。
 - ○水泳授業は前回お伝えした通り民間委託になりました。毎月曜にバス移動にて実施。初日は混乱もあったが慣れたらスムーズに行えている。スイミングのコーチが指導してくれる。(学校プールの) 管理費や維持費のことなども考えるとこの形がいいのではないかと思う。
 - ○校舎の大規模改修 ステップ1の改修が始まります。1階2階の校庭側を封鎖しての改修、部室棟や岩石園の改修など。引っ越し作業で荷物を別室へ移動している。土日では引っ越し業者が入り大きなものの移動がある。工事中、音が全くでないということはないと思うので生徒への負担を強いることになるのが心苦しい。令和9年度には素晴らしい校舎になる予定なのでぜひ地域の方へも伝えていただきたい。
 - ○熱中症 生徒へも日傘を指すこと伝えている。(在庫のあった)帽子を体育でかぶらせたりもしている。
- (2) 「自ら判断し、その結果について自分で責任をとる。中学生に望まれること。」
 - 1.「中学生が自ら判断する」ことについてのご意見や鶴中生の現状など
 - 2.学校・家庭・地域は、それぞれ何ができるだろうか?
 - ①~③グループに分かれて熟議

① グループ

- 1. 話し合ったことを学校で実現できていることが素晴らしい。(校則) 生徒が決めたことを尊重していく先生方の協力。
- 2. それをしたことによって失敗もあるかもしれない。しかし修正を話し合うかも。

決めた (判断した) →失敗した→次にどうするか考える、話し合う

生きている中でどれだけの人と接したかも大切。

ボランティアなどに参加し、そこで親でも教師でもない大人と話すのも貴重。違う目線の人と話すのも大切であろう。

②グループ

- 1. 実際の鶴中生の中での「どこまでが良く、どこまでが悪い」のか親まで情報が届いていない。親へも届くようにしてほしい。先生同士の中でも共有ができているのか疑問。ある程度判断する人を決めることも必要か。大人の目線でどこがダメか介入していく必要もあるのではないか。個人個人で判断の基準が違うのでは。
- 2. 学校と生徒とでの決め事が親や地域まで届いていないので伝えてほしい。伝えてもらえたら一緒に考えることができるのでは。

③グループ

1. 基本的には勝手にしろだがある程度の指針は必要だろう。判断、行動(失敗)して自分と世間の違いが体感できた方がいい。考えての失敗はいい方向へ繋がるのでは。

先生同士で基準があるかないか。ある先生では良くてある先生ではダメは理不尽。ただ学校とは理不尽を教わる場だと思っているのである程度の理不尽はいいのではないか。先生同士の判断が少し違ってもいいのでは。

判断を任せたのならば(その判断を)否定はしないでほしい。失敗したところで、「どうだった?」と一緒に考えてほしい。

2. 見守る、判断したことを尊重する。

判断するための材料を多くする。コミュニケーションをとって色々な年代の人とかかわっていくことで判断ができるようになっていくのでは。うまくコミュケーションする場を作ってほし

学校

2.

○校則が一方的でブラックとの世間の声があった。本来は子どもと保護者、地域と話し合って決めていくのがよいのだろう。

今まではルールで決めていたのでルールありきで指導ができていた。今は考えさせて、自ら行動できるように持っていかなければならない。指導に時間がかかるようになってきている。

自立して生きていくためには自分で考え判断していくことが大事。

まだまだ判断力を磨いていかなくてはいけないが、子どもたちの気持ちを尊重しながらしていく必要がある。色々な大人が関われる場面が必要だと思う。何かできないか。時間が係る取り組みですが、 見守っていただきたい。

(意見) 以前に PTA で行っていたバザーは生徒の様子もみれてよかった。

○最近教員の不祥事のニュースがたくさん出ている。鶴中は大丈夫?と声が出てしまうでしょう。職員へも教室には(必要以外)スマホをもっていかない、怪しまれる行動はしない、1 対 1 の指導は避けるなどを改めて伝えたところです。気を引き締めてやっています。

(意見) 1 対 1 にならない指導について 相談の時などカメラにその時だけ残すことはできないか。 大規模改修のこの際に(カメラを)つけてもらえないか。入学の際に、録画・録音のことを伝えるようにしていけばいいのではないか。

→工事の追加は難しい。周りの動向を参考にしたり校内での検討などを考えていく。

4 閉会の言葉 会長